

## 札幌医科大学産学連携ポリシー

平成 19 年 4 月 1 日

平成 29 年 7 月 1 日改正

本学は、昭和 25 年の開学以来、「進取の精神と自由闊達な気風」、「医学・医療の攻究と地域医療への貢献」という建学の精神に基づき、最高レベルの医科大学を目指す理念を掲げ、国際的・先端的な研究を進めて研究成果の創出に努めてきた。今日においては、健康長寿社会の形成に向け、世界最高水準の技術を用いた医療の提供とともに経済成長への寄与が求められており、医療分野における基礎から実用化に向けた一貫した研究開発の推進及びその成果の円滑な実用化、産業活動の創出が重要な課題とされている。

本学は、倫理性、透明性を確保したうえで、産学連携活動を通じて研究成果を社会に還元し、これらの課題解決に向けて活動していくことを目指し、以下のポリシーを策定する。

### 1 研究倫理を尊重し、透明性の高い産学連携活動を推進する。

- (1) 国内外の法令や条約等の遵守
- (2) 競争的資金等の使用等及び研究活動における学内諸規程等の遵守
- (3) 適切な利益相反マネジメントによる社会への説明責任の明確化

### 2 研究者を支援し、国際的・先端的な研究を推進する。

- (1) 最先端の基礎研究の充実と、臨床応用への円滑な移行への相談体制の強化
- (2) 技術や法律に関する助言による、価値の高い知的財産の創出
- (3) 研究者のインセンティブを確保する仕組みの充実
- (4) 外部研究資金に係る情報提供、申請事務手続き、資金管理等事務体制の強化

### 3 迅速な研究成果の技術移転を推進する。

- (1) 早期技術移転を可能とする専門職人材の育成とアウトソーシング手法などの活用
- (2) 研究者情報や研究シーズなどの研究情報の収集・管理と積極的・効果的な情報発信
- (3) 外部研究員制度等の充実

### 4 大学及び技術移転支援機関、国立研究開発法人などとの多様な連携を図りながら、産学連携の取組みを推進する。